

次いで
九月八日
十一代藩主
斉元が病死します

今年は何んという年だ！
藩主が
あいつい
おむくなり
なるとは...

おまけに
今年は大水害と
冷害で
米の収穫も
三分の以下に
落ち込んで
しまった...

これでは
藩の収入も
ほとんど
望めまい...

十二月
あとを継いだ
十二代藩主
斉広も
亡くなります

天保十年
(一八三九)
政治と財政の
建て直しを行い
武士や農民の
不安を取り除く
ことが余の
最大の仕事だ！
十三代藩主
毛利敬親

村田清風を
江戸と国元の
財政建て直しの
責任者として
任命する！！
地江戸仕組係に
任命する！！

清風の言う通り
余自らが
質素節約の
手本とならねば
いけない

おがすの
数も
減らさなく
こは...

なにより
清風が仕事が
しやすいように
してやらねば
とつた！
表番頭格に準じて
家老の顧問役に
しよう

清風は
財政改革の
総元締に
なりました

天保十一年
(一八四〇)

改革のための
方針を決める
御前会議が
開かれました

大政の
時は来た！
やるぞ
八万母貝の
大敵退治だ！！

政治の
実力者が
次々に
意見を
述べ
清風が
意見を
述べます

わしの
意見は
各方面で
御理解
願え
なかつた
特に奥向きの
お女中や
商人には
全く不人気で
ござった

しかし
改革は
掛け声
だけでは
どうにも
ならぬ
今は一刻も
ゆるぎが
許されぬ
時である

殿にも
少く
耳が
痛い
ことを
申し上げ
るが
お許し
願わねば
ならない

清風は
大節の
必要、
役人の
規則の
厳守、
士風の
刷新など
七か条からなる
改革の
意見を
述べました

清風の
言う
とおり
じゃ
とおり
じゃ
比喩の
者
清風を
助け
心を一
つにし
て
藩の
改革に
つくせ！

△以下次巻